

大分大学(牽引型)

共同実施機関： 大分工業高等専門学校・フドーキン醤油株式会社
三和酒類株式会社・三井住友建設株式会社

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
実施期間：H29年～H34年

【実施体制】

産学共にまだまだ男社会である大分で、国立大学法人大分大学は、独立行政法人国立高等専門学校機構大分工業高等専門学校、地域の中核的な発酵企業であるフドーキン醤油株式会社と三和酒類株式会社、大手ゼネコン企業である三井住友建設株式会社と協働して、女性研究者・技術者をリーダーとした産学連携研究を展開します。この女性主導の産学連携活動とそれから生み出された成果により、産学双方の女性研究者・技術者自身のキャリア意識の向上と同時に男性の潜在意識の改革につなげ、女性の上位職比率と研究・技術者比率の増加、職域拡大を目指します。

【特長】

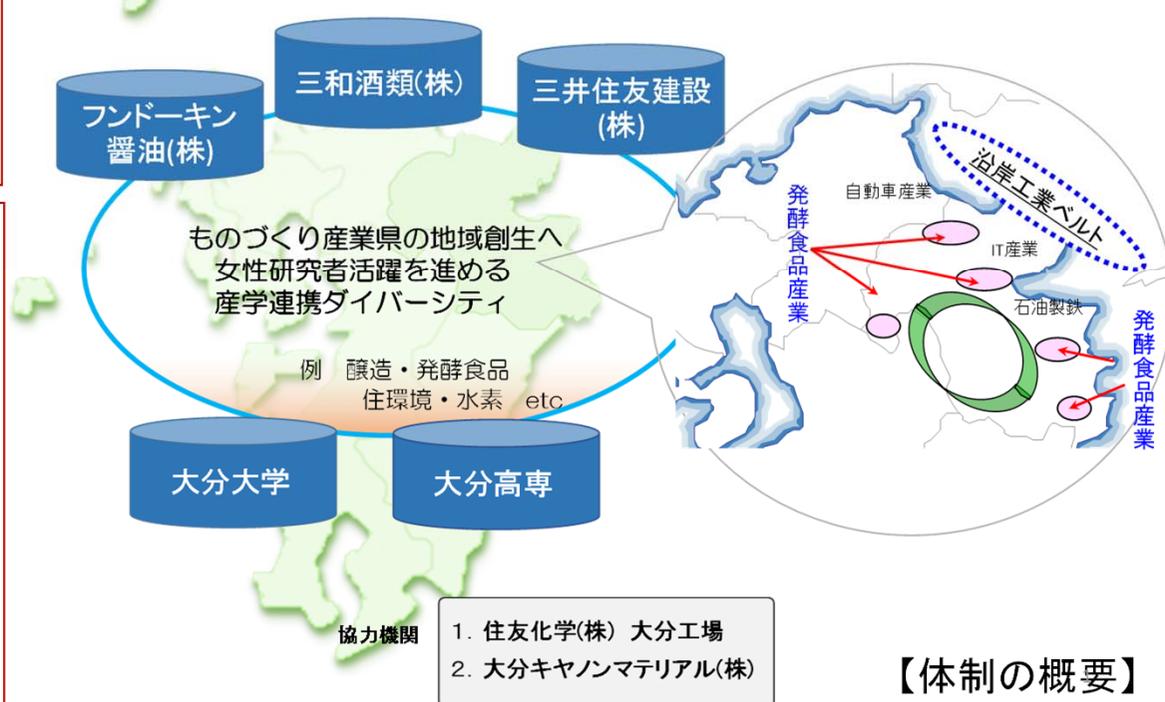
異なる領域の女性研究開発者が連携することで、単独の組織に所属するときにはみえなかった方法、意義、価値に気づき、影響力がある成果をだす機会と仕組みを構築します。

- ・女性研究者リーダーによるものづくりを核とした研究プロジェクトと人材育成
- ・女性が主人公の産学連携によるダイバーシティの実現を地域創生につなげる

【取組概要】

大分大学と全共同実施機関は、各々の機関内の既存の男女共同参画推進体制を産学連携型へのダイバーシティ推進体制へと変容させ、その機能を強化します。これに加えて、大手企業の地域工場である住友化学株式会社大分工場、大分キャノンマテリアル株式会社も協力機関として上記の共同実施機関とともに「おおいた連携ダイバーシティ推進会議」を設立します。産学連携の本推進会議において「ひとの創生」活動をソフト面で支援し、男女ともに意識改革を好循環させリーダー育成につなげるために、両立支援、意識改革の手法の共有、女性リーダー塾の共同開講など地域での産学連携型ダイバーシティ推進の仕組みを確立します。さらに、本推進会議に参画する地域企業を増やすことで、地域の企業の男女共同参画に関する意識改革につなげます。

まだまだ男社会の「おおいた」地域創生に貢献する女性研究者支援・育成
- 若者人口減少地域の産学連携ダイバーシティ推進モデル



【体制の概要】

「おおいた連携ダイバーシティ推進会議」設立

【支援内容】

1. 女性の研究力と存在価値の向上

- ・女性主役の産学共同研究の展開
- ・研究倫理に関する意識の共有

2. 意識改革を産学連携の実践共同体で展開

- ・おおいた女性研究者リーダー塾
- ・スキルアップ研修
- ・ダイバーシティセミナー

3. 仕事と私事の両立・統合支援

- ・研究補助員による研究支援
- ・育児支援サービス
- ・男性教職員の育休取得加速 など

産と学による実践共同体

【目指す効果】

1. 女性研究者主役
「地域の創生」

2. 女性研究者の
評価が高まる

3. 上位職男性の
潜在意識変化

4. 上位職女性増加
女性研究者増加

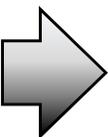
女性自身の
本気度が増す

「ひとの創成」
・成果をだす上位職女性
・無意識のバイアスを克服した男性

【地域への波及】



- ・最終年度まで参画企業を増やす
- ・九州地域での類似活動のトリガーとなる



- ・女性の能力を活かそうとする地域の中堅・中小企業の増加
- ・優秀な女子学生の地域雇用

【広報関係】 異分野の組織の方が集まり、共に成長しようとする事業です。

・地域の中堅・中小企業の皆様へ！

共同研究や意識改革の輪をさらに広げ、地域社会と共に成長するダイバーシティ推進に取り組みます。特に、若者人口の減少が確実なこれから「育児しながらもキャリアアップを目指す有能な女性の活用」を是非進めたいがこれまで困難であった、あるいはこれから始めたいとお考えの地元企業の方々に声を掛けて頂きたいと思います。

・女性研究者育成に加えて、病児保育体制の整備運用し継続しています。また、女子中高生とお母さんへの「リケジョ」啓蒙活動(出前型の科学実験など)も行っています。

【お問合せ】

機関名： 大分大学

所在地：〒870-1192 大分市大字旦野原700

連絡先：HP: <http://www.fab.oita-u.ac.jp/>